

オアシスの臨時株主総会招集に関する 東京ドームの利害関係者への重要なメッセージ

臨時株主総会の招集

オアシス・マネジメント・カンパニー・リミテッド(以下「オアシス」または「弊社」といいます)は、株式会社東京ドーム(9681 JT)(以下「東京ドーム」または「同社」といいます)の筆頭株主であるファンドの資産運用会社です。

オアシスは、事業改善計画を遂行し、「より良い東京ドーム」を実現し企業価値を最大化するべく、東京ドームの代表取締役社長を含む取締役 3 名の解任を目的に臨時株主総会を招集することを決定いたしました。

2020 年 10 月 16 日、オアシスは東京ドームの長岡社長に対して臨時株主総会の招集請求書を送付しました。その招集請求書の中では、同社に対し、実務上可能な限り速やかに、かつ、遅くともその招集請求書受領後 2 か月以内に臨時株主総会を招集するよう要求いたしました。

同社は 10 月 19 日付の開示にて、オアシスの招集請求を受けて「非常に困惑している」と述べています。しかし、同社が困惑する理由は全くありません。オアシスが過去数か月の間、幾度も同社に対して問題意識と提案を説明しようとしたにもかかわらず、東京ドーム経営陣は、オアシスに対して、適切な時間軸にそって意味のある改革を実行する決意をうかがうことのできる回答を全く行わずに、オアシスの提案に耳を傾けようとしないままたずらに時を過ごしてきたからです。なお、その後、同社は本日付で 12 月中旬に臨時株主総会を開催すると発表し、その基準日は 11 月 11 日と定められました。

オアシスはすべての利害関係者のために東京ドームの改善に取り組んでいます。新型コロナウイルスの流行とそれに伴うドームのイベントの需要減が、むしろ、同社の事業運営、安全性、および収益性を改善させるための事業改革を実行するためには稀有な機会であるにも拘らず、東京ドームの経営陣はその機会をみすみす逃してしまっています。また、事実として、東京ドームの取締役会は過去 30 年にわたって、同社が東京ドームの機能を向上させファンの満足度をしっかりと高めるように監督することを怠ってきました。端的に言えば、同社の現状の計画は非常に小粒で、かつ、既に非常にタイミングが遅れたものです。オアシスは、主要な事業改善計画を一定期間内で遂行できる新任取締役を選任し、すべての利害関係者の利益のために企業価値の向上と東京ドームの改善に努める所存であります。

臨時株主総会招集の目的

まず、すべての株主の皆様には、オアシスが提案した「より良い東京ドーム」という[詳細な事業改善計画](#)を是非ご覧いただきますようお願い申し上げます。

オアシス提案の「より良い東京ドーム」計画のおおまかな概要は以下の通りとなります。

同社の所有する東京ドームは、読売巨人軍の本拠地であり、かつ、コンサートやスポーツイベントといったエンターテインメントの日本の象徴的な開催地です。東京ドームシティ内にはドーム型スタジアム、遊園地、43 階建てホテルを有し、その敷地面積は東京中心部にして約 140,000 平米です。2019 年には、東京ドームの年間来場者数が 900 万人を突破しました。

ですが、東京ドームシティへ足を運んでも、主要なアトラクションや、顧客満足度、安全性のいずれをとっても何年もほとんど変化がないままで、まるで過去へタイムトリップしているように感

じます。同社が以下の取り組みを行なうことにより、すべての利害関係者の利益のためになる大幅な改善が見込まれると考えております。

- 1) 東京ドームの運営上の抜本的改善
- 2) 東京ドームホテルの運営改善もしくは外部運営者への委託
- 3) 東京ドームシティアトラクションズ(遊園地)でパートナーシップ先を開拓し、顧客満足度を向上させる
- 4) 非中核事業の売却
- 5) コーポレート・ガバナンスの改善

東京ドームは、本来あるべき姿である、最高水準の顧客満足度を提供できる場になると我々は確信しています。今こそ、「より良い東京ドーム」の実現のために改革を実行すべき時です。

オアシスは 2018 年以降、これらの事業改善計画を一定の時間軸を定めてその期間内に完遂するよう、長岡勤代表取締役社長をはじめとする同社経営陣へ向けて建設的な対話によるエンゲージメントを繰り返し行ってきました。

オアシスは、事業改善計画を実施するにあたり、具体的なアイデアや手段などを提示してまいりました。また、オアシスの提案において事業改善プランの核となる、電子看板や非接触型エントリーシステムなどを専門とするベンダー企業数社を紹介することを同社に申し出ましたが、我々の建設的な対話を求める試みは、同社代表取締役社長に繰り返し拒絶されてきました。

オアシスが「より良い東京ドーム」計画のプレゼンテーションにおいて指摘した数多の検討すべき問題や課題に対して、同社からは 2020 年 7 月 20 日に改革案が発表されましたが、その発表がオアシスの指摘に対する唯一の反応です。

しかし、この改革案の内容も期待を遥かに下回るものでした。内容は換気システムの改善に焦点を当てたままでそれ以上の改革に踏み込まず、オアシスの提示している同社の事業や資産の全体的なリストラクチャリングプランになんらの言及もありませんでした。ホテルや遊園地への改善策についても全く言及されていませんでした。そこでは、電子看板を導入する計画が述べられていますが、これだけに 3 年間も費やそうとしています。それと比較して、オアシスの「より良い東京ドーム」計画のプレゼンテーションでは、電子看板を 90 日以内で完成できるコストパフォーマンスの高い見積もり案を提示しています。

この 7 月 20 日の会社発表に先立つ 1 年間、オアシスは長岡社長と業務改革を行うために対話を行おうと働きかけてまいりました。また、コロナを要因とする、ドーム(スタジアム)やホテルの需要減を好機として設備更新投資を加速させるよう促してきました。我々は長岡氏に十分な時間を与え、業務改革のための対話を促してまいりましたが、2020 年 10 月になっても、何一つ重要な改革は達成できていません。

このような経緯に鑑み、同社の問題は、なによりまず、非効率な経営と取締役会の監督の失敗に起因すると確信しています。経営陣がファン、顧客、取引先、株主を含むすべての利害関係者の利益にかなう経営をしていないのは明らかです。経営陣が改革への行動を起こさないがゆえに、同社の株価は本質的な価値から大幅なディスカウントで取引されています。

今こそ、この現状を変えるときです。

臨時株主総会では、長岡社長と在任期間が 15 年を超えている 2 名の合計 3 名の取締役を解任することをオアシスは目指します。

長岡勤氏は長らく同社の取締役及び執行役員を務め、2016年4月以降は代表取締役社長執行役員にありま。長期にわたり同社の保有資産を有効活用できず、同社の潜在的な企業価値を引き出せなかったばかりか、これまでオアシスの業務改革の提案に対して対話を回避してきた長岡氏の責任は重く、取締役として不適任です。

森信博氏は社外取締役としての在任期間が15年を超えており、ガバナンス上、独立社外取締役としての適格性に疑問を持たざるを得ません。

また、同氏は、同社の大株主であり、大口借入金の融資元でもあって、かつ、同社と株の持ち合いもしている同社と関係が深い銀行の一社において重職を務めた経歴をお持ちです。その出身銀行でのご経験が、15年を経た今日でも、同氏が社外取締役として取締役の業務執行の牽制機能を果たすうえでなお有益な事情になっているとは、いまや考えられません。それにもかかわらず同社経営陣が同氏の取締役としての在任が出身銀行との関係に鑑みて必要であると判断するのであれば、同社の業務に出身銀行の利害が関わる問題について、同氏が判断を迫られる場合に、取締役の忠実義務に基づき、株主の利益に充分配慮した判断をなし得るのか懸念を持たざるを得ません。

秋山智史氏も森氏と同様に社外取締役としての在任期間が17年を超え、独立社外取締役としての適格性に疑問があり、交代が必要な時期にあります。

東京ドームには、いわば事業の転換点にあり、迅速な業務改革をタイムリーに実行する経営陣が必要とされておりま。社外取締役にもフレッシュな眼で経営監督機能を担うことのできる人材が必要とされています。長岡社長および既に15年以上の長期にわたり会社の経営を是認してきた両氏には、この変革の時期においてご勇退いただくのが適切です。

この臨時株主総会での合計3名の取締役の解任は、2021年4月開催予定の定時株主総会において、オアシスが提案する経営陣の刷新の第一弾となります。2021年の定時株主総会では、オアシスは、真に有能で豊富な経験を持ち、すべての利害関係者のために、業務改善計画の実施、ガバナンスの改善を実行し、東京ドームの長期的な企業価値の向上のために誠意を持って取り組む社長および取締役候補を提案する予定です。

「より良い東京ドーム」へのオアシスの決意

オアシスが臨時株主総会の招集を請求したことは、「より良い東京ドーム」の実現を目指す我々の決意を示しています。

オアシスは、東京ドームのすべての株主に対して「より良い東京ドーム」を創るための改革に参加していただきたいと思っています。そのために、

1. 経営陣刷新の第一弾として代表取締役社長と2名の取締役の計3名の解任という、臨時株主総会でのオアシス提案議題への賛成投票 及び
2. 業界に精通し、明確に定められた時間軸にそって事業改善計画を遂行できる新たな取締役の選任という、定時株主総会でのオアシス提案議題への賛成投票

をお願いいたします。

オアシスは同社経営陣が信義誠実に則り、また、会社法、及び、東京証券取引所が定めるコーポレートガバナンス・コードに従って臨時株主総会を招集すること、そして、定時株主総会の招集に際しては、総会で経営陣の刷新を求めるオアシスの株主提案を公表し議案とすることを強く求めます。また、経営陣が、自分達個人の保身を図るために、ディスカウント価格での第三者への株式割り当てやポイズンピル(買収防衛策)の導入など株主や利害関係者の利益を損ねる行動を一切取らないことも強く求めます。

我々は、株主の皆様や利害関係者すべてが協力し合って、より良い東京ドームを創り上げ、東京ドームを世界最先端のスポーツ・エンターテインメントの場に変えていくことを楽しみにしております。

当サイト上の弊社のメッセージに関するご質問につきまして、株主の皆様からのご質問を受け付けております。

宛先はこちらです。:info@abettertokyodome.com.

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

以上

オアシス・マネジメント・カンパニー・リミテッド
